

2022年度通常総会 開催



片岡 義篤 代表理事 挨拶

2022年6月14日（火）アジュール竹芝13F「飛鳥」にて、当協会の2022年度通常総会が開催されました。今年もアフターコロナに向けZoomによるWeb会議を併用して行われました。総会員は正会員78名のうち出席者72名（Zoom接続によるもの13名、委任状によるもの30名を含む）を得て開催され、まず、司会の高橋事務局長が開会を宣言し、出席者数を報告し総会が成立する旨を告げ、片岡代表理事の挨拶のあと、議長は吉田代表幹事に、議事録署名人は上原理事と岸本理事にお願いすることが全員一致で決まり、議事に入りました。

第1号議案「2021年度事業報告」と第2号議案

「2021年度決算報告」は高橋事務局長から資料に基づき説明があり審議され、決算内容については、平野監事より監査結果が適法且つ妥当である旨の報告があり、異議なく可決承認されました。第3号議案「任期満了に伴う理事、監事の選任」は第19期理事及び監事の選任案について選任を求めるもので、1名ずつ可決承認が行われました。続いて、報告事項として、「2022年度事業計画」、「2022年度収支予算」について報告され、以上をもって議事を終了しました。引き続き「警察庁長官表彰」、「特別業績表彰」、「部外協力者表彰」、「防犯設備士功労表彰」、「業績表彰」が行われ、閉会いたしました。



司会：高橋 俊雄 事務局長



議長：吉田 剛 代表幹事

片岡代表理事の挨拶

本日は、2022年度通常総会の開催に当たり、会員の皆様には大変お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。平素から私ども協会の業務各般にわたりまして、ご指導ご支援をいただいておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

本日の通常総会は、感染症リスクを考慮し、Zoomを用いたインターネット会議を併用いたしております。また総会終了後の「懇親会」につきましても、誠に残念ですが、中止とさせていただきます。よろしくご理解を賜りたく存じます。

さて本日の総会では、2021年度の事業報告、決算報告、任期満了に伴う理事及び監事の選任の審議並びに2022年度の事業計画、収支予算を報告することとなっております。審議等に先立ちまして私から当協会の現状と課題についてご報告いたします。

まず防犯設備士制度事業についてですが、防犯設備士の資格取得者数は現在約3万1000人です。総合防犯設備士は、444人です。昨年度からコロナ対策として防犯設備士養成講習・資格認定試験をIT化いたしました。講習はオンライン講習とし、試験はCBT方式で実施しています。これにより感染予防が図られ、受験生の利便性も向上することから受験者数の大幅アップを期待したのですが、コロナ禍の影響はいかんともし難く、若干の増加にとどまりました。本年度につきましても、依然として厳しい状況は続いておりますが、引き続き広報活動、営業活動の強化に努めてまいります。

また昨年度から、学割制度の導入や警察官等の特例措置の拡充も行いました。いずれも受験



片岡 義篤 代表理事

者増対策の一環として行ったものですが、これにより裾野の拡大や警察との緊密な連携にもつながるものと考えています。より成果が上がるようPRに努めてまいります。

資格更新事業の拡充につきましては、一昨年度から資格更新者の優位性を高めるため、優良防犯設備士制度を創設し、資格更新を行った防犯設備士に対して、継続的に日防設ジャーナルなどの情報提供を行うこととしました。これでもって最新の知識・技能を習得して業務にあたっていただきたいのです。

また地域協会での更新講習については、昨年度、関西ブロックにおいて試行を行いました。本年度につきましても、試行地域を拡大し、中部ブロック、九州ブロックにおいても行う予定です。更新者にとりましては、従来の自宅学習方式との選択制となり、地域協会で行うセミナーや機器展示会等にも参加できるため、より便利で、メリットのあるものとなります。どれだけ地域協会での更新講習に足を運んでもらえるかがポイントです。

2点目は、RBSS認定事業です。これも2008

年のスタート以来着実に認定数が増加し、自治体等の入札で仕様書に記載されるなどその認知度や市場への浸透度は高まっています。今後、IoT、AIの活用など防犯カメラ等の高度化・多様化が一層進展することが予想されます。国民や社会のニーズに的確にこたえていくためにも、本年度も引き続き防犯カメラシステムのAI機能について研究を重ねるとともに、警察庁等の関係機関からの情報収集、意見交換を行い、今後のRBSS機能・性能の拡充について検討を行ってまいります。そして今後とも更に防犯カメラを普及させるために、その有用性をもっと社会に訴え、RBSSの認知度、貢献度を一層高めてまいります。

制度事業の関係で、1点付言させていただきます。それは個人情報保護法との関係です。本年4月から、令和2年改正法が施行されているところですが、当協会ではかねてから個人情報やプライバシーの問題などの取扱いについては格別の配慮をしているところです。昨年度も特別セミナーや地域協会の全国大会で個人情報保護の最近の動向や問題点について講演をし、「防犯カメラと個人情報保護法の取扱い」と題する冊子を配布するなどしております。今般の改正で、認定個人情報保護団体制度が拡充され、企業単位だけでなく、企業の特定分野・部門を対象とする団体も新たに認定の対象となりましたので、当協会もより一層個人情報保護に万全を期するため、認定団体としての資格を取得すべく準備をしてまいりたいと考えております。

3点目は、地域協会の全県設立に向けた取り組みについてです。

2月末に全国で43番目の地域協会、新潟県防犯設備協会が設立され、未設置県は残り4県となりました。早期に全国的なネットワーク網が構築されるよう、引き続き未設置県への設立支援に注力してまいります。

4点目は、表彰の関係です。本総会では協会業務に関し長年にわたり活動し、特に功績のあった方々に対し、警察庁長官賞3人、特別業績表彰4人、部外協力者表彰9人を含む計35人・団体の方に対し表彰が行われます。受賞される方には、心からお祝い申し上げます。これもひとえに皆様の功績と誠実さの賜物です。今後もより一層のご活躍をお祈りいたします。

最後に、今回は任期満了に伴う役員の選任のほか、会長も交代されます。片倉会長から日立産業制御ソリューションズ社長の今井様になられます。よろしくお願いします。

当協会は今後とも、防犯設備士、RBSSという協会の根幹をなす事業を中核として、これら課題に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

本日まで出席の皆様の益々のご発展、ご健勝を祈念して私の挨拶といたします。

片倉会長の退任挨拶

退任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

私は2年前の2020年6月に、伊藤前会長の後を受け、当協会の会長に就任いたしました。

この2年間を振り返りますと、私たちの取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症拡大により生活パターンや働き方にも大きく影響を与えました。企業ではリモートワークが急速に浸透し、定着している企業も多くなりました。昨年も新型コロナウイルス感染症の再拡大による閉塞感が続きました。そして、世界的な半導体不足など、国内経済を取り巻く環境が不安定かつ大きく変動した年となりました。一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大は、デジタル・トランスフォーメーションの進展や価値観の多様化等、ニューノーマルな行動様式や社会の在り方が定着しつつあります。そうした中、昨年は東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されました。緊急事態宣言下での異例の大会となりましたが、成功裏に収めることができました。開催を通じて、日本の安全・安心なまちづくりの姿を国内外に示す良い機会にもなったと思います。

さて、当協会は、昨年創立35周年を迎えることができました。また、新たな法人制度のもと、公益社団法人として10周年を迎えました。

その中で事業基盤の一つである防犯設備士制度事業では、新型コロナウイルス感染症拡大により、2020年度は防犯設備士養成講習・資格認定試験の受験者が大きく減少しましたが、受験者の感染予防と利便性向上のため、2021年度より講習・試験をIT化し、非接触方式としました。ひとりでも多くの方に受験していただくよう働きかけてきました。このことからコロナ禍が続いていますが、受験者は増加に転じております。



片倉 達夫 前会長

もう一つの中核事業でありますRBSS優良防犯機器認定制度では、防犯カメラ等のAI機能も含めて今後のRBSS機能・性能について関係機関、団体と意見交換を開始しました。これからもさらに安全で信頼できる防犯機器の普及に貢献していただきたいと存じます。

そして、防犯設備士の方々の活動拠点である地域協会につきましては、新潟県が加わり、43都道府県に設立されるに至りました。また地域の防犯活動に対する助成金交付事業を昨年度から開始しました。地域の防犯活動の活性化につながることを期待しております。

日本防犯設備協会が、より安全で安心な社会の実現に向け、警察関係や関係諸団体、会員の皆様と連絡を密にとって連携し、力を合わせて活動していただくためにも、引き続き、皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、公益社団法人日本防犯設備協会の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、私の退任の挨拶とさせていただきます。

この2年間どうもありがとうございました。

今井会長の新任挨拶

只今、ご紹介頂きました株式会社 日立産業制御ソリューションズの今井でございます。

先程行われました理事会におきまして理事の皆様方にご推挙を頂き、当協会の会長に就任致すことになりました。どうぞ今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

前任の片倉会長におかれましては2020年6月から2年間に渡り当協会の発展のため、並々ならぬご尽力を頂き、多くの業績を残されました。ここに厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は、1986年に設立され2020年、令和2年で設立35周年を迎えました。会員は276社に拡大し、事業基盤の一つである防犯設備士制度においては、資格登録者が約31,000名となり、各地で防犯の専門家として活躍頂いております。

今後さらに防犯設備士の認知度の向上とRBSS（優良防犯機器認定制度）の事業の普及・拡大、そして地域協会の全県設立に向けた支援を積極的にすすめてまいります。



今井 泰樹 新会長

新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、厳しい状況が続いておりましたが、昨年よりワクチン接種も進み、経済活動の再開も進み始めましたので、歴代会長をはじめ、協会活動に携わってこられた多くの方々によって築かれた事業の基盤を引継ぎ、「安全・安心なまちづくり」にお役に立てるよう微力ながら努力して参りたいと思います。

社会のための協会としてさらに発展するために、引続き、警察関係や諸団体の皆様のご指導、ご協力と会員の皆様方のご理解、ご支援を心からお願い申し上げまして、簡単ではございますが私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

鈴木敏夫 警察庁生活安全局生活安全企画課長のご挨拶

ただいま御紹介いただきました、警察庁生活安全企画課長の鈴木でございます。

本日は、2022年度日本防犯設備協会通常総会にお招きいただき、ありがとうございます。

今般、貴協会が創立36周年、また公益社団法人として12年目を迎えられましたことに、心からお慶び申し上げます。

貴協会の皆様には、創立以来36年もの長きにわたりまして、警察行政各般に御理解と御協力を賜っておりますことに加え、防犯カメラなどの防犯設備の普及や、防犯設備士の認定・育成を通じ、犯罪の起きにくい社会づくりに向け、御尽力いただいていることに対しまして、敬意と謝意を表する次第です。

また、今回、特別業績表彰をはじめ、各表彰を受けられる皆様に対しまして、心からお祝い申し上げます。

受賞されます皆様は、優良防犯機器認定制度の運営や認定機器の普及促進、防犯設備士の人材育成などに御尽力してこられたと伺っております。

受賞のお祝いと合わせまして、改めてこれまでの取組に感謝を申し上げます。

さて、治安情勢につきましては、官民一体となった総合的な犯罪抑止対策の推進により、刑法犯認知件数は19年連続して減少し、令和3年の認知件数は約56万8,000件と戦後最少を更新しております。

このように治安の改善が数値に表れておりますのも、皆様方が取り組んでおられます優良防犯機器の普及や、防犯設備の設計、施工及び維持管理など、日々の活動が大きく寄与しているものと考えております。

一方、子供や女性を狙った性犯罪や、高齢者が被害者となる特殊詐欺も厳しい状況にあり、また、サイバー空間における犯罪被害が相次いでいるなど、社会の平穏を脅かす犯罪は未だに発生しております。

警察といたしましてはこのような現状をしっかりと認識し、安全で安心して生活することのできる社会の実現に向け、組織の総力を挙げて各種の取組



警察庁生活安全局生活安全企画課長 鈴木 敏夫 様

を推進しているところであります。

しかし、警察の取組だけで、安全で安心して生活のできる社会が実現されるものではありません。

貴協会を始め、関係団体、事業者、地域住民の方々が連携・協働して防犯活動に取り組み、地域全体の防犯力を強化していくことが極めて重要であると考えております。

安全で安心な社会の実現に向けては、防犯カメラ等の防犯機器・防犯設備の普及や、建物の構造等を犯罪防止に配慮したものにするハード面の対策と、地域の住民や事業者による防犯パトロール、防犯に関する広報啓発等のソフト面の対策を効果的に組み合わせて実施することが重要であります。

皆様方におかれましても、引き続き防犯設備に関わる人材育成や、ご見識の深いハード面の対策を推進していただくとともに、地方公共団体や学校等の関係機関を始め、自治会、事業者団体等の関係団体と連携し、地域の住民や事業者による自主防犯活動を支援するなど、ソフト面の対策も含め、地域の防犯の要として、これまで以上にお力を発揮していただきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるご時世ではありますが、どうか皆様にはご自愛いただきながら、それぞれのお立場で御活躍いただければと思います。

結びといたしまして、貴協会の今後益々の御発展と、皆様方の御健勝を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。